

全日本ろう学生懇談会

過去も現在も、ろう学生を取り巻く環境には共通した課題があります。

- ・大学や大学院の選択肢の幅・情報の少なさ(情報の格差)
- ・学生に取り巻く課題に対する意識
- ・学生のエンパワーメント力・コミュニケーション能力
- ・学生の抱える課題を解決する企画が少ない
- ・ろう教育の問題(大学進学コースのあるろう学校が少ない) ...など

そういった課題を解消するために、1959年の「近畿ろう学生懇談会」の設立から始まり、関東、東海に広がり、今では北の北海道から南の沖縄まで活動をしています。下の図表は、本会の掲げる三本柱(目標)です。

独りぼっちなろう学生をなくそう

視野を広げる機会や悩みや本音を語る仲間を見つけることで、聴覚障害学生としてのアイデンティティの確立、ありのままの自分でいられる場を作っていくことを目標としています。

聴く権利・学ぶ権利

自分の夢を実現するための、学ぶ環境がまだ不十分であるということが現状です。今自分がおかれている環境、例えば大学や学校などを改めて見直し、聴く権利や学ぶ権利が保障されるように働きかけていきます。

社会改革

一人ひとりそれぞれが、社会におけるろう者が直面する問題を解決する問題提起・解決力を身につける場であり、後輩たちの未来の社会全体にわたる改革を起こしていくことを目標としています。

集い事業 ～全国ろう学生の集いと会員の集い～

集いの社会的意義は？

- ・ろう学生運動の場
(→問題提起・解決、団結の場)
- ・独りぼっちなろう学生をなくすために
(→本当の仲間の発見、本当に自分でいられる場)
- ・手話の世界との出会い
(→聴学生にとっても重要な場)
- ・様々な人物・情報・知識・価値観・意見に触れる
(→参加者の経験・成長・希望の増加)
- ・集いをみんなで作り上げ、成功させることができた経験・感動・自信
(→ろう学生の人材育成)



第34回全国ろう学生の集いin京都
参加者は約200名！！

時代の変化に合わせて、集いの意義も変化してきたが、集いはみんなで作り上げるもので、意義は一人ひとりが見出すものとしている。

本会の課題 ～未来のろう学生を取り巻く環境の改善に向けて～

- ・関東、東海、近畿以外の会員が少ない
- ・中高生向けの企画・情報が無い
- ・OB,OGとの連携
- ・外部団体との共生
- ・情報保障の共有
- ・知名度の向上
- ・活動資金の捻出
- ・本会の社会的意義・存在意義 など

(問い合わせ先) 全日本ろう学生懇談会

住所：大阪府大阪市中央区玉造1-4-14

E-Mail:zenkon.jimu@gmail.com

HP:zenrougakukon.com